

～刈谷スマートシティ～
刈谷スマートウェルネスプロジェクトの実証結果について

刈谷スマートウェルネスプロジェクトに係る次のフィールド実証につきまして、実証の結果を取りまとめましたので、お知らせします。

1 5Gを活用した救急医療分野のフィールド実証

【実証内容】

ドクターカー出動時に、5Gを活用して救急現場のリアルタイム映像等を病院へ伝送することによる、受け入れ体制の早期構築などの効果を検証した。

【実証成果】

音声による情報伝達と比較して、リアルタイムの映像情報を基にした病状確認による治療方針の共有が、帰院後の早期治療に効果がある事を確認できた。

2 スマートデバイスによる遠隔診療

(1) 睡眠センサー

【実証内容】

睡眠センサーにより取得したライフログデータを活用した体調把握ならびに日々の見守りに対する有効性を検証した。

【実証成果】

独居や認知症患者の日々の生活状況について、本人や家族から情報収集が困難であったが、睡眠センサーを活用することで、不眠や生活状況の把握と療養上の課題を発見することができた。

(2) オンライン診療

【実証内容】

デジタル聴診器を活用したリモート聴診等によるオンライン診療の有効性などを検証した。

【実証成果】

在宅小児患者においては、リモート診察及びデジタル聴診器により、遠隔で医師が患者の呼吸状態を確認でき、往診による時間的な制約がなくなるため有効性が高い。

3 パワーアシストスーツ、歩行訓練ロボット等のフィールド実証

(1) パワーアシストスーツ

【実証内容】

介護現場でのパワーアシストスーツの活用による負担軽減及び業務効率化の効果を検証した。

【実証成果】

おむつ交換、離臥床の作業において腰の負担軽減効果が確認できた。

(2) 歩行訓練ロボット等

【実証内容】

歩行訓練ロボットの使用による歩行能力と訓練モチベーション向上の効果を検証した。

また、専用アプリを使った歩行能力の可視化による職員の負担軽減及び歩行診断精度の向上の効果を検証した。

【実証成果】

従来の訓練と比較し、歩行速度の向上、訓練に対するモチベーションへの有効性が確認できた。

また、歩行動画解析アプリによる歩行能力の可視化・定量化が歩行診断において有効であることが確認できた。

4 その他

各実証内容の詳細につきましては、別添資料をご参照ください。

なお、詳細な実証結果につきましては、3月末までに、成果報告資料をホームページにて公表する予定です。

【参考】刈谷スマートウェルネスプロジェクト

愛知県スマートシティモデル事業の採択を受けて実施するもので、地域医療・介護のスマート化のモデルケース構築に向けて、次の3件のフィールド実証を実施

(1) 5Gを活用した救急医療分野のフィールド実証

(2) スマートデバイスによる遠隔診療

(3) パワーアシストスーツ、歩行訓練ロボット等のフィールド実証